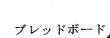
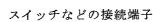
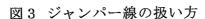


取り扱うときは黒いゴムの部分をつまむ 無理に差し込まない

斜めにせず まっすぐに抜き差しする







- 4.4 データスイッチと発光ダイオードの確認
- (1) データスイッチを OFF(下側)にする。
- (2) ジャンパー線を使って、データスイッチ SWO と発光ダイオード LO を接続する (SWO の接続端子はスイッチの上側に、LO の接続端子は LED の下側にある)。
- (3) S0 を ON(上側)にして、L0 が点灯することを確認する。
- (4) 上記と同様にして、 $S1\sim S7$  の操作により  $L1\sim L7$  が点灯/消灯することをそれぞれ確認する。
- 4.5 プッシュボタンの確認
- (1) プッシュボタンの上側にある端子と発光ダイオードL0をジャンパー線で接続する。
- (2) プッシュボタンを押している間だけ L0 が点灯することを確認する。
- 4.6 クロックパルスの確認
- (1) 周波数切り替えスイッチを1Hz(上側)にする。
- (2) ジャンパー線を使って、周波数切り替えスイッチの上側にある端子と発光ダイオード L0 を接続する。
- (3) L0 が定期的に点滅することを確認する。

## 4.7 ブレッドボードの確認

図4に示すように、論理回路トレーナーのブレッドボードは、ボード A (2個) とボード B に分かれている。

ボードAの各端子(穴)は内部で横方向に電気的につながった2つのブロックに分かれており、主に電源配線用に使用する。赤い線が付いている方を+電源、青い線が付いている方を-電源(GND)の配線に使用する。

ボードBの各端子(穴)は内部で縦方向に電気的につながった63×2のブロックに分かれている。ICや抵抗などの配線に使用する。ICは中央の溝を挟んで上下にピンが出てくるように取り付ける。